



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エイテイング
コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津村 正幸

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	451	18.0	△17	—	△17	—	△17	—
23年9月期第1四半期	382	△41.1	△12	—	△12	—	△17	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △17百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△327.87	—
23年9月期第1四半期	△334.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,827	1,543	84.5
23年9月期	2,000	1,613	80.6

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,543百万円 23年9月期 1,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年9月期	—	0.00	—	1,000.00	円 銭	1,000.00
24年9月期	—	—	—	—	円 銭	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	1,000.00	円 銭	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,154	2.5	100	△35.0	98	△36.6	31	△57.7	613.62
通期	2,467	12.6	215	1.8	212	1.4	72	△23.8	1,386.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	55,238 株	23年9月期	55,238 株
24年9月期1Q	3,230 株	23年9月期	3,230 株
24年9月期1Q	52,008 株	23年9月期1Q	53,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続をしています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直しております。ただし、海外景気の下振れや円高の継続、株価の変動等によっては景気の下振れリスクが存在しております。

家庭用ゲームソフト業界におきましては、複数の有力なニンテンドー3DS向けタイトルが発売されたことに伴い、ニンテンドー3DS本体の国内販売累計台数が400万台を超えました。

また、当第1四半期におきまして、株式会社ソニーコンピュータエンタテインメントより、次世代ゲーム機「PlayStation Vita」が発売されました。

震災等の影響により、近年ゲームソフト市場は厳しい環境下にありましたが、各ゲームソフト会社による人気タイトルの発売の発表やそれに伴う新型ゲーム機の普及拡大など、明るい兆しも見られております。

一方、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）業界におきましては、引き続き、高い成長率を維持しながら市場規模の拡大が予想されております。

このような環境の中、当社グループでは多様化するゲームのニーズに対応すべく、マルチプラットフォーム開発やゲーム制作ツールの使用により、開発業務の効率化を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は451,072千円（前年同四半期は売上高382,267千円）、営業損失は17,224千円（前年同四半期は営業損失12,390千円）、経常損失は17,394千円（前年同四半期は経常損失12,257千円）、四半期純損失は17,052千円（前年同四半期は四半期純損失17,843千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、PS3・XBOX360向けの複数のタイトルの開発を進めております。開発規模の大型化の傾向が強まっており、成果物の規模見積りや作業項目、役割分担などを早期に明確化していくことで、開発工程や原価管理の改善を行っております。

以上の結果、ゲームソフト開発事業における売上高は299,114千円（前年同四半期は売上高355,991千円）、営業利益は95,463千円（前年同四半期は営業利益93,187千円）となりました。

② モバイルコンテンツ開発事業

モバイルコンテンツ開発事業におきましては、SNSコンテンツの需要の拡大に対応すべく、初期開発並びに運用業務を行ってまいりました。

市場の成長性やクライアントの要望を鑑み、人員採用により開発体制の強化を図っております。

以上の結果、モバイルコンテンツ開発事業における売上高は151,957千円（前年同四半期は売上高26,221千円）、営業損失は2,847千円（前年同四半期は営業損失4,177千円）となりました。

③ ネットワークコンテンツ開発事業

ネットワークコンテンツ開発事業におきましては、引き続き当第1四半期においてもオンラインゲームの運営開始に向け準備を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高及び営業損失は計上しておりません。（前年同四半期においては、営業損失8,475千円のみが計上されております。）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,228,439千円となり、前連結会計年度末に比べ172,489千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が176,747千円減少したことによるものであります。固定資産は599,097千円となり、前連結会計年度末に比べ643千円減少いたしました。

この結果、総資産は、1,827,537千円となり、前連結会計年度末に比べ173,133千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は229,640千円となり、前連結会計年度末に比べ101,525千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が106,733千円減少したことによるものであります。固定負債は53,908千円となり、前連結会計年度末に比べ2,547千円減少いたしました。これは主に長期借入金が2,560千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、283,548千円となり、前連結会計年度末に比べ104,073千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,543,988千円となり、前連結会計年度末に比べ69,060千円減少いたしました。これは主に四半期純損失17,052千円及び剰余金の配当52,008千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.5%（前連結会計年度末は80.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、「3. 平成24年9月期の連結業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）」に記載の業績数値となっており、平成23年11月9日に公表した連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052,792	876,045
受取手形及び売掛金	300,001	265,594
仕掛品	—	33,203
繰延税金資産	10,051	13,059
その他	38,083	40,536
流動資産合計	1,400,929	1,228,439
固定資産		
有形固定資産	62,479	58,490
無形固定資産		
コンテンツ仮勘定	288,811	288,811
その他	131,569	134,570
無形固定資産合計	420,381	423,382
投資その他の資産	116,880	117,224
固定資産合計	599,741	599,097
資産合計	2,000,670	1,827,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,387	37,338
未払法人税等	110,930	4,196
引当金	—	6,139
その他	184,848	181,965
流動負債合計	331,166	229,640
固定負債		
長期借入金	52,080	49,520
資産除去債務	4,376	4,388
固定負債合計	56,456	53,908
負債合計	387,622	283,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,323,109	1,254,049
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,613,048	1,543,988
純資産合計	1,613,048	1,543,988
負債純資産合計	2,000,670	1,827,537

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	382,267	451,072
売上原価	248,063	324,496
売上総利益	134,204	126,575
販売費及び一般管理費	146,594	143,799
営業損失(△)	△12,390	△17,224
営業外収益		
受取手数料	45	39
還付加算金	342	—
未払配当金除斥益	179	146
営業外収益合計	566	186
営業外費用		
支払利息	—	355
創立費償却	363	—
その他	71	—
営業外費用合計	434	355
経常損失(△)	△12,257	△17,394
特別損失		
開発中止損失	4,512	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,694	—
特別損失合計	6,206	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,464	△17,394
法人税等	△620	△341
四半期純損失(△)	△17,843	△17,052
四半期包括利益	△17,843	△17,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,843	△17,052

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ゲームソフト 開発事業	モバイル コンテンツ 開発事業	ネットワーク コンテンツ 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	355,991	26,221	—	382,212	54	382,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	355,991	26,221	—	382,212	54	382,267
セグメント利益又は損失(△)	93,187	△4,177	△8,475	80,534	39	80,573

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルキャラクターの企画製作及び特許開発等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,534
「その他」の区分の利益	39
全社費用(注)	△92,963
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△12,390

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	ゲームソフト 開発事業	モバイル コンテンツ 開発事業	ネットワーク コンテンツ 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	299,114	151,957	—	451,072	—	451,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	299,114	151,957	—	451,072	—	451,072
セグメント利益又は損失（△）	95,463	△2,847	—	92,616	—	92,616

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	92,616
「その他」の区分の利益	—
全社費用（注）	△109,840
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△17,224

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。